

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 敬 寿作成日: 令和 元年 7 月 3 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい	法人合同で行う行事に、地域の方の参加があるが、地域の行事や活動に参加する機会が少ないので、今後の課題として取り組んでいく。	運営推進会議を窓口として、地域の行事や活動の情報提供を受け、職員が可能な利用者と一緒に参加し、交流を広げていく。また、地域の高齢者の介護相談や高齢者の見守り活動等、民生委員とも協力しながら地域貢献に向けて取り組んでいく。	12ヶ月
2	51	日常的な外出支援	利用者の重度化が進み、車椅子対応の方も増え、1対1の対応が必要となるので、職員配置を工夫したり、他のマンパワーを模索しながら、外出の支援に取り組んでいく。	家族やボランティアの協力を得たり、職員の勤務体制を工夫して、重度化の中でも、気分転換に繋がる外出の支援に取り組んでいく。また、個別に、行きたい所に同行したり、外食を楽しむ等、生きがいに繋がる外出支援にも取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。